

背景・目的

水素エネルギーは利用段階で地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして注目されており、将来の有力なエネルギーとして期待されています。

環境モデル都市である本市では、臨海部にエネルギー拠点を有するポテンシャルを活かし、産学公連携のもと、新たなエネルギーとして期待される水素エネルギーの利活用促進を通じて地域の発展を図る「堺市水素エネルギー社会推進協議会」を設立し、水素エネルギーの利活用を通じた地域の発展や持続可能なまちづくりを図っております。

その取組の一環として、燃料電池バスの乗車体験会を開催し、燃料電池バスの導入機運を高め、環境負荷低減や水素エネルギー市場の拡大を図り、水素エネルギー社会の早期実現をめざします。

事業概要

大阪府等と協働で仁徳天皇陵古墳などを周遊する燃料電池バスの乗車体験会を開催する。

効果

- ・燃料電池バスの導入機運の醸成
- ・百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた機運醸成

事業スキーム

大阪府・・・実施主体間の調整
堺市・・・周遊コースの設定など
トヨタ自動車・・・燃料電池バスの貸し出し(無償)
岩谷産業・・・燃料電池バス用に水素ステーションの Protokol 改修
南海バス・・・運転手の手配

(事業費)

負担金 315千円

※バスの陸送費用、運行委託等

※大阪府、堺市水素エネルギー社会推進協議会等で経費を負担するうちの堺市負担分。

